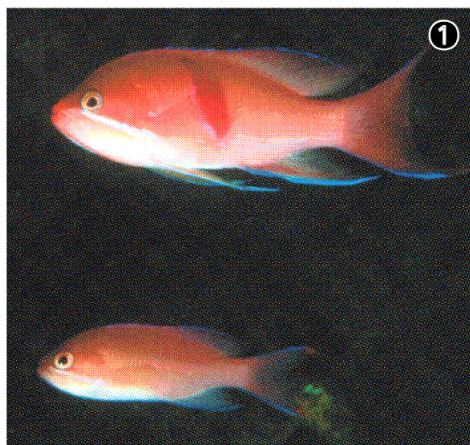
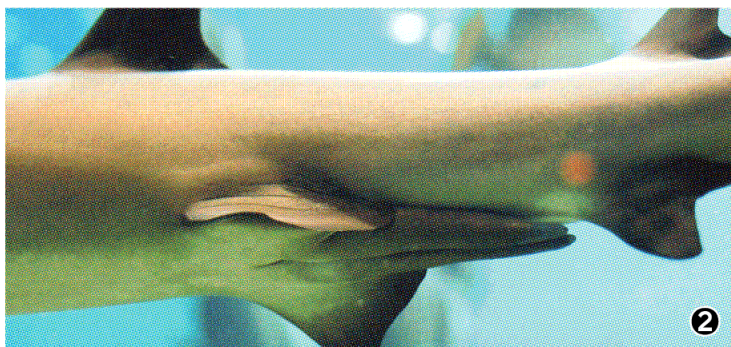




①アカオビハナダイの雄（上）と雌。
雄にだけ赤い帯模様があります②サメ
の雄は腹びれに2本の交尾器がありま
す③緑がかった色をしているキュウセ
ンの雄④白い体色のキュウセン。雄か
雌かは分かりません⑤オヤビッチャは
雄が卵の世話をします



中には見分けがつくものもいま
す。ジンベエザメなどのサメやエイ
の仲間は、交尾をして繁殖します。
その際に必要な「交尾器」が雄の腹
びれにあるので分かります。
体色や模様が違ふ魚もいます。
アカオビハナダイは名前通りの赤い
帯模様が雄にだけみられます。

答えに困る来館者からの質問の一
つに「この魚は雄ですか？ 雌で
すか？」というものがあります。な
ぜなら、魚は外見で性別が分か
らないものが多いからです。水族館に
いる魚の中ではカツオ、マダイ、
タマカイ、チヨウチヨウオ、ピラ
ルクーなどがそうです。



魚の性別 難しい外見での判断

ベラの仲間も、雄と雌で体色が異
なるものが多いのですが、ややこし
いものもいます。例えばキュウセン
は、白色が雌、緑色が雄と言われま
すが、厳密には違います。キュウセン
は成長に伴って雌から雄へ性を変
える魚として知られています。しか
し性転換をしない生まれながらの雄
も存在します。しかも小さな頃は白
色で、大きくなると緑色に変化しま
す。つまり緑は雄と言えますが、白
は必ずしも雌とは言えないのです。
このように魚の性別判断は一筋
縄ではいきません。中には行動の違
いがヒントになる種もあります。オヤ
ビッチャは雄が卵を世話します。
岩やサンゴに産み付けられた卵に、
ひれで新鮮な海水を送ったり、近寄
る魚を追い払ったりしている様子
が見られれば雄です。

「この魚は雄かな？ 雌かな？」
と気になったら、見た目だけでなく
行動も観察してみてください。

(魚類展示係飼育員・山田守彦)